

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	160 国際化教育支援事業					
予算科目	01-030110-19			担当部課	市民部国際交流室	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	補助金（間接）	
個別計画	つくば市グローバル化基本指針			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

事業の概要

対象	国際基準の認定を受けている市内の各種学校
目的	市の国際化教育の環境の充実を図るとともに、外国の優秀な研究者の招致を容易にする。
概要 (取組内容)	国際基準の認定を受けている市内の各種学校（日本において学校教育法に基づいて、「学校教育法の第1条に規定される学校」以外で、学校教育に類する教育を行うもので、所定の要件を満たす教育施設のこと）を支援する。 国際バカロレア又はこれに準ずる国際基準の認定を受けた学校の当該教育プログラムの取得・維持に係る経費に対し、補助金を支出する。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	4,000	4,000	4,000	
	決算額	(千円)	4,000	4,000	4,000	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	4,000	4,000	4,000	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,942	2,048	1,360	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.12	0.30	0.20	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	15.00	5.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページやSNS、広報紙等での情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	補助対象学校の児童・生徒数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	180.0	260.0	260.0	260.0	260.0	260.0
	実績	263.0	266.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	令和2年5月1日確定値						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	本年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、国際バカロレア教育プログラム認定の維持に必要な研修がオンラインに切り替わる等の事案が発生したが、補助対象経費についてヒアリングを重ね、適正な運用を図った。	
成果	国際バカロレア又はこれに準ずる国際基準の教育プログラム事業の継続に資することができ、市の国際化教育の環境の充実を図ることに寄与した。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	国際バカロレア教育プログラム認定の維持に必要な研修の開催地や査察対応の有無により、年によって補助対象経費が大きく変動する。
改善目標	国際バカロレア教育プログラム認定の維持に必要な研修の開催地や査察対応の有無により、年によって補助対象経費が大きく変動するため、補助金額の算定について見直しを図る。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	161 姉妹・友好都市交流事業					
予算科目	01-030110-19			担当部課	市民部国際交流室	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市グローバル化基本指針			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					10人や国の不平等をなくそう	
					16平和と公正をすべての人に	

事業の概要

対象	市民（市内に在住・在勤・在学する者を含む）、行政機関
目的	教育や文化、経済交流など、姉妹・友好都市を含む海外都市との交流を推進することで、つくば市の特性をいかした事業展開を図る。
概要 (取組内容)	教育、文化、経済面での交流 訪問団の派遣、受入れ 相互の行政視察実施 市が携わる国際交流事業に係る調整及び通訳

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	4,177	4,177	4,177	
	決算額	(千円)	1,390	5,780	93	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,390	5,780	93	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	8,199	9,160	1,438	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.13	1.30	0.21	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	90.00	138.70	4.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページやSNS、広報紙等での情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	友好都市で開催されたオンラインイベントへの市内企業の参加
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	姉妹都市・友好都市交流事業の参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	90.0	90.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	112.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	深セン市ハイテクフェア（オンライン）に出展した市内事業者2人（2社）						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、海外との往来が難しく、姉妹都市等の訪問や行政視察受入はできなかったが、友好都市で開催されたオンライン商談会への市内企業の参加サポートやオンライン市長会談の実施など、新しい形での交流を実現した。
成果	深セン市：サージカルマスク80,000枚の寄附受領 4/24、 ハイテクウェア参加（オンライン）11/11-15 アーバイン市：市長同士のオンライン会談実施 3/5 韓国大田市：大田市庁舎へ展示するため、つくば市の写真提供
課題	業務 新型コロナウイルス感染症拡大により、相互の行き来による交流は実現不可能となってしまった。オンラインを活用した新たな交流の形をさらに模索する必要がある。 組織、予算等 特になし
改善目標	姉妹都市や友好都市担当者と緊密に連絡を取り合い、オンラインの活用を含めた様々な交流の方法を検討する。 行政視察受入再開に際しては、令和元年に作成したフォーマットを活用し、業務の改善を図る。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	1	計画から大幅に遅れている。（未達成）
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	159 外国人生活支援事業					
予算科目	01-030110-19			担当部課	市民部国際交流室	
市長公約				係名		
戦略プラン	Ⅲ-3	1	1	市役所窓口や消防業務における多言語対応	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市グローバル化基本指針				事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	04質の高い教育をみんなに
						10人や国の不平等をなくそう

事業の概要

対象	市民（市内に在住・在勤・在学する者を含む）、市職員
目的	言語や社会制度の違いから生じる不便・不安を軽減し、外国人住民の生活を支援する。
概要 (取組内容)	外国人相談窓口の運営及び来庁した外国人の通訳・案内 市が発行する文書や冊子等の翻訳 留学生交流員を委嘱し、8か国語の外国語広報紙を発行 4言語の多言語ホームページでの情報発信

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	8,516	8,275	8,275	
	決算額	(千円)	4,955	6,380	6,902	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	4,955	5,841	6,554	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	539	348	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	8,162	8,967	7,144	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.13	1.30	1.00	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	75.00	60.20	140.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	多言語ホームページ及び外国語広報紙作成のための情報共有
企画・立案、計画	特になし
実行	多言語ホームページ及び外国語広報紙での情報発信
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	通訳対応件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	350.0	680.0	705.0	730.0	755.0	780.0
	実績	711.0	576.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	通訳対応件数及び外国人相談窓口相談件数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	外国人相談窓口について、多言語ホームページや多言語広報紙への掲載し、周知を図るとともに、窓口案内チラシはA4サイズからA3サイズに拡大し、市役所の地図を入れる等の工夫により利用者の利便性向上を図った。	
成果	外国人相談窓口相談件数計：576件（令和3年3月末現在）英443件、中91件、日本語10件、その他32件 庁内文書の翻訳件数：合計133件（英語97件、中国語23件、韓国語3件、その他言語10件） 多言語広報紙（8言語）発行計：年4回で約12,000部	
課題	業務	外国人相談窓口における利用言語について、英語が圧倒的に多いことから、それ以外の言語での情報を必要とする外国人市民への一層の周知強化が必要である。
	組織、予算等	多様化・複雑化する相談に対応するため、職員及び国際交流員の知識向上及び課題の共有のための研修等の機会を設ける必要がある。
改善目標	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、従前とは異なる相談内容も増加していることから、庁内関係各課及び関係機関と連携を密にするとともに、相談員向けの各種研修に積極的に参加することで知識向上や最新の情報共有を図り、各ケースに応じたきめ細やかな支援を実現する。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	158 多文化共生推進事業						担当部課	市民部国際交流室
予算科目	01-030110-19						担当部課 係名	
市長公約	15							
戦略プラン	Ⅲ-3	1	2	国際理解講座や文化交流事業の開催			新規・継続	継続
	Ⅲ-3	1	3	日本語支援体制の充実			事業分類	自治事務（任意）
							事業体制	補助金（直接）
個別計画	つくば市グローバル化基本指針						事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし						SDGs	04質の高い教育をみんなに
								10人や国の不平等をなくそう
								16平和と公正をすべての人に

事業の概要

対象	市民（市内に在住・在勤・在学する者を含む）
目的	つくば市国際交流協会等と連携し、多文化共生を推進する事業を行うとともに、つくば市グローバル化基本指針を策定し、国際意識の啓発と多文化共生社会の形成を図る。
概要 (取組内容)	第2次つくば市グローバル化基本指針の策定 青少年の国際感覚を醸成するために国際理解講座を実施 国籍を越えた市民交流を推進するためのイベント等の開催 外国にルーツを持つ子どもたちの日本語支援 外国人住民が日本語を話したり、日本文化に触れることができるイベントの開催

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	35,395	35,632	35,632	
	決算額	(千円)	34,901	31,438	31,742	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	34,901	31,438	31,742	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,001	8,090	6,854	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.80	1.10	1.00	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	143.00	255.00	22.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	市ホームページおよび広報紙による情報発信
評価、検証	特になし

指標の推移

指標名	事業の実施数 (事業)						活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	目標値	15.0	16.0	16.0	17.0	17.0	17.0
	実績	15.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	市及び市国際交流協会が実施している多文化共生に関する事業数（市内国際交流活動のみ）						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	つくば市国際交流協会の事業について、広報つくば、多言語ホームページ及び多言語広報紙にて積極的に周知を行い、協会事業の認知度向上を図った。
成果	第2次つくば市グローバル化基本指針策定準備（市民委員選定等） 市内公立小学校向け国際理解講座の実施：市内13校で31講座を実施。1192名参加 オンラインを活用した国際交流協会主催事業：延べ1294名参加（大人向け日本語講座：16名、子ども向け日本語講座及び進学相談会：延べ61名、世界お茶のみ話：全5回延べ49名、Youtube再生回数1168回）
課題	<p>業務 新型コロナウイルス感染症拡大により、一部の講座やイベントはオンラインでの開催に取り組み始めた結果、環境整備や運用面で課題が見つかったため、今後は課題を解消し、オンラインでのメリットをいかして継続する必要がある。</p> <p>組織、予算等 つくば市国際交流協会の主催事業の多くをオンラインへ移行したことにより、環境整備費（機材等の導入費）及びそれにかかる人件費が増加している。</p>
改善目標	講座等の国際交流事業は、オンラインツールのさらなる活用を図ることで、新たな参加者・受講者層の掘り起こしと参加者数の拡大を図る。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—